

ほのぼの 倶楽部

福祉の玉手箱 たまさい

地域包括支援センターおひとりさま
訪問看護ステーションの今後

平成31年度事業報告・決算書

INFORMATION

多摩済生園「新型コロナウイルスとの闘い」
多摩済生園コロナ禍の中ご利用者を守り抜く
デイサービスわかくさ・ひまわり

新型コロナウイルスに負けない

小平が！この仕事が！

たまさいが大好きだ！

盛夏号

Vol. 103



バーチャル・フェイス・スタンス

安心がここに
ある

福祉の 玉手箱

幸せがここに
ある

社会福祉法人多摩済生医療団
多摩済生園・多摩済生ケアセンター

住所：〒187-0041

東京都小平市美園町三丁目12番1号

電話：042-343-2291

FAX：042-342-2900

特別養護老人ホーム多摩済生園

従来棟 94名 ユニット棟 60名

ショートステイ 9名

デイサービスセンターひまわり

認知症対応型通所介護わかくさ

定期巡回・随時対応型訪問介護看護たまさいケア 24

訪問介護事業所

訪問看護ステーション

小平市地域包括支援センター・同喜平橋出張所

居宅介護支援事業所

table of contents

103号

ほのぼのCLUB

1

多摩済生園の新型コロナウイルスとの闘い

Social distance

多摩済生園での取り組み事例紹介

2

diary & memory 多摩済生園

オンライン面会・サロン「みよこ」と「しょうこ」
遠出はできないけど

interview ユニット棟1階 介護主任 丸山 真里子さん

3

diary & memory ひまわり

コロナ禍でもみんなで楽しんでいます
感染症予防の取り組み

4

diary & memory わかくさ・運営推進会議

わかくさの様子

interview わかくさ副主任 深谷 千夏さん

小平市地域包括支援センター多摩済生ケアセンター

「おひとりさま」包括支援センター 副主任 渡邊 恵さん

多摩済生訪問看護ステーション

訪問看護とは

今後の展望

多摩済生園・多摩済生ケアセンター平成31年度事業報告

ほのぼの
倶楽部



多摩済生園・多摩済生ケアセンター決算書

INFORMATION

地域包括支援センター岡島より

特養介護職員・用務の募集

タオルください

Vol. 103 表紙モデル 介護職員

(左から) ユニット棟3階: 畠山 謙悟さん、ユニット棟1階: 南山 貴大さん、ユニット棟3階: 相澤 未来さん
従来型棟2階: 中村 佑介さん、ユニット型棟3階: 齋藤 貴子さん

ほのぼのCLUB

職員健康チェックシート			氏名			
日付	時間	体温	呼吸器症状	呼吸器以外の症状	備考	
出勤前	:		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛	なし・下痢・嘔吐・頭痛		
始業前	:		咳・その他	その他		
出勤前	:		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛	なし・下痢・嘔吐・頭痛		
始業前	:		咳・その他	その他		
出勤前	:		なし・鼻水・鼻閉・咽頭痛	なし・下痢・嘔吐・頭痛		
始業前	:		咳・その他	その他		

出勤前と始業前に検温を実施し、その日の体調をチェックシートへ記入しています。



受付にもソーシャルディスタンス & 飛沫防止シートを設置しました。



入館は原則お断りさせて頂いておりますので、来園者は1階ロビーにて対応させて頂いております。(飛沫感染防止対策の為、アクリル板で仕切られたテーブル)



管理者会議、主任会議、各委員会会議などすべての会議は感染防止の為、各フロアからオンライン会議で行っています。



感染防護服着脱の手順を看護課長が説明。それを動画編集し、いつでも職員が確認出来るようにして万が一に備えています。



万が一、職員が濃厚接触又は疑いに該当し、保健所から自宅待機指示が出た際、その職員の同居家族に高齢者が居るなど自宅に帰れない職員の為に、職員宿泊部屋を施設内に2部屋用意しました。(写真上2枚)

Social distance



ご利用者、ご家族の皆様にも安心して施設生活をお送り頂けるように職員一人一人が「持ち込まない」を徹底する為、厚生労働省の通知に沿って、様々な対応策を講じています。ここではその一部をご紹介します。



面会制限の為、6月1日よりご家族様専用オンライン面会の環境を整備致しました。上の画像はホームページに掲載されているものです。オンライン面会の様子は次項をご覧ください。

出勤時に手洗、嗽をする洗面所もソーシャルディスタンスです。



小平駅から徒歩5分なので、電車通勤が基本でしたが、公共交通機関を避けた通勤を推奨しています。



濃厚接触に該当した場合やPCR検査の結果が出るまでの一時待機部屋として多床室各階に待機専用居室を確保しました。

オンライン面会の様子
お顔が見れて終始笑顔です。



以前の様に外食ドライブなどの遠出はできませんが、施設敷地内やバルコニー
外気浴。お外はやっぱり気持ちが良いですね。



屋内で過ごす時間が多くなりましたが、色々と皆さんで楽しくやっています。



新型コロナウイルス感染症対策の為、外部からの入館制限に伴い、理美容ボランティアさんによる散髪が出来ておりません。その為、カリスマ美容師（理美容免許を持っている職員）によるサロンが毎月開店しています。

サロン みよこ



施設内にウイルスを「持ち込まない」を徹底する為、施設内の環境をはじめ、職員一人一人の意識や行動が公私ともに変わりました。その他、全国的に面会制限が継続されており、オンライン面会などの環境は整備したものの、ご利用者とご家族様が直接会えないという辛さは計り知れません。そのような中、少しでもご利用者が今までとは変わらず楽しい生活が送れるよう、コロナ禍が終息するまで、職員一同力を合わせてご利用者を守り抜きます！

サロン しょうこ



ユニット棟1階介護主任 丸山 真里子 介護福祉士

平成24年に介護職員として入職し、令和1年介護主任へ昇格。人を思いやる気持ちが強く、またチャレンジ精神も旺盛で、所属する委員会の活動を東京だけでなく全国の大会で発表するなど積極的に当施設の活動を発信し続けてくれている。お酒が大好きな彼女は上記のコメント以外にコロナ禍で飲み歩けなくなった事を愚痴っていたが、好印象が崩れるので詳細は割愛…。



体操も間隔をあけて行っています。 毎日、決まった時間に消毒です。



テラスで水やり。



見本はどっち!?



声は出さずに体操。



大きい花が咲きました! 根気強さの表れです!



マスクをして勝負!



出来上がりが楽しみです。



餌やりも通う楽しみです。



真剣さがカッコいいです。



集中力の賜物です。



皆さんの願い事がかないます様に。

思いもかけないコロナウイルスにより、以前と同じとはいきませんが、安心・安全を確保し、ご利用者の皆さんが、充実した時間を過ごせる様、職員一同、知恵を絞り、乗り越えていきたいと思ひます。



体温測定



換気



消毒



車消毒



頑張ってます。



波の動きが伝わってきます。



足が良くあがります。



ご夫婦でお世話しています。



今日の楽しみは？



母の日に。笑顔はじける！ マスクをしてレクリエーション。 いつも瑞々しい！



4月から認知症対応型通所介護わかくさの専任職員になりました。わかくさのご利用者定員は12名。少ない人数だからこそ、ご利用者それぞれの個性を大事にし、皆さんの持っている力を発揮できる場になると考えています。私は、「ご利用者の笑顔 power」をもらえるこの仕事が大好きです。ご利用者の気持ちがホッとして、「大切にされている」と感じてもらえる温かい空間にしていきたいと思います。まだまだ整っているとは言い切れませんが、ご家族やケアマネジャーさん等とも連携をして、ご利用者一人一人の「できる事」を見つけ、思い思いに過ごし、少しでも多く笑って過ごせてもらえるようにしていきたいです。

わかくさ介護副主任 深谷 千夏 介護福祉士

平成17年多摩済生ケアセンター通所介護職員として入職。デイではレクリエーションのスペシャリストで、常に笑顔絶やさないが彼女だが、筋の通らないこと平気で良く言う田中課長に対してはとても厳しい。勉強熱心であり、ご利用者から大人気の職員。

にしていきたいです。

運営推進会議ご報告

今回の運営推進会議、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ご利用者ご家族の意向に合わせ、会議出席者の皆様に文書での意見照会とさせて頂きました。

以下、照会内容の一部

Q. 個別ケアを見直していくことについて

A. 個別ケアが認知症ケアにつながるはず。職員がそれぞれのやり方で接するのでは無く、意識の高い水準で同じ接し方ができるようにすると、ご利用者も安心して過ごせると思う。

お忙しい中、照会という形で貴重なご意見をいただき、誠に有難う御座いました。皆さまのご意見を参考に、職員の接し方や空間の整備などに力を入れ、今後もより良いデイサービスを目指して頑張りたいと思います。ご協力有難う御座いました。

Q. 利用者の過ごす空間の環境整備について

A. 安心、安全に過ごせる環境にすることが第一。また、物の配置だけではなく、ご利用者の個別の能力を把握し、その力を発揮できる仕組みやプログラムも整えていってほしい。

地域包括支援センター多摩済生ケアセンター 副主任 渡邊 恵氏 「おひとりさま」



小平市のシンボルキャラクター
ぶるべー

地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口です。そのため高齢者に関する様々な相談が入ります。

数年前、一人の女性から相談がありました。具合が悪くてここ数日下血をしている、病院に行こうか迷っているとのこと・・・そのため訪問して様子を伺いに行きました。その女性は明らかに顔色が悪く、ひどく痩せていました。詳しく聞くと1か月近く食欲不振が続き、下血を繰り返しているとのこと。救急車を呼ぶことを提案しましたが、それだけではどうしても嫌と、受診もなぜかためらっていました。説得して実費のヘルパーを手配し、翌日受診してもらいました。結果は直腸癌、緊急手術となりそのまま入院となりました。術後の面会で事情を聞くと、身寄りはなく、親戚付き合いもない、「おひとりさま」でした。だからこのまま家で死んでもいいと思っていたと…

退院後、抗がん剤治療など闘病生活が始まりました。せっかく助けてもらった命だから、頑張ってみると前向きになってくれました。介護認定を申請し、要介護1が出たのでケアマネジャーを紹介、介護保険サービスを利用しながら再スタートしました。しかし残念なことに癌は転移し、入退院を繰り返します。そんな日々が4年近く続いたでしょうか。ある日「最期は誰にも迷惑をかけずに死にたい」と相談がありました。実は音信不通の姉がいるが、自分が死んだあとその姉に連絡はしてほしいくない、相続もしたくないと。そのため本人の意向に沿って最期を迎

えられるよう、遺言書の作成や死後の整理事務など支援してくれる専門機関につなげました。無事に遺言書作成などできた後、末期癌の宣告を受けられました。「何も心配はない、最期はホスピスで死にたい。」とその意向に沿って、終末期はホスピスに入院、約2か月後に亡くなりました。遺言執行人によって、滞りなく納骨も自宅処分もされました。

一度は人知れず死んでもいいと思っていた方が、もう一度自分の死に向き合い、どういう最期を迎えたいか考え、意向に沿って実行する…この支援に携われたことは、地域包括支援センターという役割の重さ、自分らしい最期について考えさせられるものでした。これからもこの経験を胸に、業務を通じて少しでもお手伝いできるよう、頑張りたいと思っています。



地域包括支援センター副主任 渡邊 恵

平成8年に特養介護職員として入職。その後は介護主任や生活相談員を歴任。大所帯である特養で働いていたころは組織をまとめる為は何事にも厳しかったが、今は優しい。在宅でのケアマネジャー経験もあり、現在は地域包括支援センターの副主任として活躍中。きっと彼女は何か持っている。彼女に入る相談は何故か難しい内容が多いが、いつも難なくこなす経験値の高さを見せつけられる。方々（ほうぼう）から頼りにされる存在。



訪問看護とは

皆さんは、“訪問看護師”という仕事についてご存じでしょうか？

「聞いたことはあるけど、よくわからない。」
「何をする看護師さん？」と疑問に思ったことはありませんか？その名の通り利用者様（訪問看護の世界では、患者様を利用者様と呼びます）のお宅を「訪問」して「看護」するのが訪問看護師の仕事ですが、実際にイメージできるでしょうか？

実際のところ、まだまだ認知度が低いのが現状です。

以前、利用者様のご家族から、初回面談の際に、「訪問看護師さんって、本当の看護師さん？」と質問されたことがありました。想像もしないその言葉に、驚き半分、いやいやこの認知度ではいけない、地域の人たちにもっと訪問看護を知ってもらわなきゃ、頑張らなきゃと改めて誓った瞬間でした。

今回は、訪問看護師の役割について簡単に紹介したいと思います。訪問看護師の役割は「利用者様とそこご家族が、地域の中でその人らしい生活ができるようお手伝いすること」



訪問看護ステーション管理者 看護師 高橋真奈美

平成16年10月1日入職後、平成28年8月から管理者へ昇進。他人に優しいが自分にも優しい。当法人の管理者の中で最も情にもろい人物でよく涙を見せる。辛い時に彼女に相談するとスッと肩の力が抜けると皆が言う。利用者様の変化を感じ取る五感が長けており、変化を感じ取ると「おっとり」とした性格からは想像がつかない速さで行動に移す。訪問看護師としての知識・技術も兼ね備えており、利用者様、同僚、他事業所から信頼も厚い。

です。本来であれば、病院での治療が望ましくても、自らの意思で訪問看護を受ける利用者様もいらっしゃいます。「住み慣れた自宅で最期を迎えたい」「例え病気であっても自分らしい生活を送りたい」そのような利用者様の気持ちをくみ、継続した自宅療養を支えるのです。訪問看護師がいるという事で、病気の方でも、安心して、大好きな家族、ペットと一緒に生活するという選択ができるのです。

そして、この実現の中で、チーム（多職種連携体制作り）を考えた時、医療と介護（生活）の橋渡しができるのが、私たち訪問看護師であると考えています。

今後の展望

今後のさらなる高齢化により、長く病を抱えながら生活する人々が増加することが考えられます。高齢者が長く地域で暮らすためには、昔の日本のような隣近所の人を気に掛けられる関係、人の取り巻きが必要です。幸いなことに？看護師は地域に存在し、少しおせっかいな隣人になれる要素も持っています。これからは、訪問業務のみならず、地域にも目を向けていくことが必要になって来ると考えています。

美園町の皆さんをはじめ、地域の方々に、小平市に生まれて（住んで）良かった、長生きしてよかったと思ってもらえるような街づくりに、今後ステーションとして貢献していけたらと思っています。

病気や介護のこと、健康のことなど、どんな小さなことでも構いません。ぜひ、お気軽に、ご相談ください。元気で、明るい経験豊富な看護師がいつでも対応致します。



最近一児のパパとなった多摩済生園・多摩済生ケアセンター事務課長兼多摩済生医療団本部職員の北嶋です。前回のほのぼの CLUB で決意表明させて頂いた通り今年度もエアコンの温度設定、必要のない空間の消灯など水道光熱費の削減を口うるさく御願いし続けております。職員の皆様には煙たがられているとは思いますが、これも全てはご利用者、職員一人ひとりの為、適正な施設運営の為だとお許し下さい。平成31年度の事業報告並びに決算書が理事会・評議員会の承認を得たので、ご報告させていただきます。

平成31年度 多摩済生園・多摩済生ケアセンター事業報告書

概況

□計画 特養ケアの品質向上と施設運営

- 実施
- 1.認知症ケアをはじめとし、研修会・セミナーへの参加、受講をほぼ計画的に進め、他職種連携を図るとともにケアの品質アップに努めた。
 - 2.看取り介護、看護についての学びを更に深め、44名の退所者の内、17名の方を施設内で看取ることとなった。
 - 3.多摩済生病院と連携し、感染対応の強化・徹底により、利用者のインフルエンザ発症を1名に抑えることができた。
 - 4.委員会活動の活性化を継続し、その結果、利用者個別ケアの向上につながった。
 - 5.ショートステイ◆市の緊急一時保護事業に本年も積極的に応需したほか、年間を通しほぼフル稼働により地域のニーズに応えることができた。
 - 6.高齢者訪問給食◆1日当りの配食数を、昨年並みに保ち、年中無休で昼夕の配食を続けることができた。

□計画 ケアセンター在宅サービスの拡充

- 実施
- 1.デイサービス◆医療依存度の高い利用者の受け入れを継続的に進め、利用者・家族のニーズに応えることができた。
 - 2.訪問介護事業◆要介護の利用者から要支援(介護予防・日常生活支援総合事業)の方々に至るまでの幅広い利用者の多様なニーズに応え、サービスの品質をアップすることができた。
 - 3.定期巡回・随時対応型訪問介護看護たまさいケア24◆利用者ニーズも増えず、市と相談し、令和元年12月1日より事業休止となった。
 - 4.訪問看護ステーション◆利用者・家族の要請に即した訪問看護サービスを提供することができた。
 - 5.居宅介護支援事業◆内外の事業所連携を更に強化し、迅速なサービスの提供をすることができた。
 - 6.地域包括支援センター事業◆介護予防・日常生活支援総合事業をはじめ、地域ケア会議、見守りボランティア事業、認知症カフェ、生活支援体制整備事業等計画通り多様な活動を展開することができた。

□計画 特定処遇改善加算に対応する

- 実施 下半期より改正された、介護職員等特定処遇改善加算の届け出を更新し、給与規程の一部改正を実施、職員の処遇改善を図ることができた。

	多摩済生園									多摩済生ケアセンター			
	特別養護老人ホーム			ショートステイ			小平市高齢者訪問給食サービス			通所介護・認知症対応型通所介護			
	計画・予算	本年実績	前年	計画・予算	本年実績	前年	計画・予算	本年実績	前年	計画・予算	本年実績	前年	
延利用者	54,750	54,679	54,919	2,920	3,340	3,258	10,950	10,521	10,773	12,810	13,090	14,073	
1日当り(人)	150	149.8	150.5	8.0	9.2	8.9	30	28.8	29.5	36.0	35.9	38.6	
1人1日 利用料(円)	13,524	13,377	12,073	12,061	12,089	11,823	847	812	824	9,832	9,381	9,764	
	多摩済生ケアセンター												
	訪問介護			定期巡回・随時対応型 訪問介護看護			訪問看護ステーション			居宅介護支援 介護予防居宅介護支援			
	計画・予算	本年実績	前年	計画・予算	本年実績	前年	計画・予算	本年実績	前年	計画・予算	本年実績	前年	
延利用者	15,330	16,851	17,725	3,285	881	1,357	3,072	2,738	3,286	5,388	7,036	6,775	
1日当り(人)	42.0	46.2	48.6	4.0	2.5	3.7	12.0	10.6	12.7	449件/月	586件/月	565件/月	
1人1日 利用料(円)	3,511	2,870	3,300	1,947	5,666	5,331	7,275	7,552	7,577	8487円/件	7,008円/件	7,247円/件	

拠点区分事業活動内訳表

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

社会福祉法人多摩済生医療団

(単位:円)

拠点区分		【4-2】 多摩済生園	【4-3】 多摩済生ケアセンター	計	内部取引消去	合計			
勘定科目									
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	798,452,234	300,883,986	1,099,336,220	0	1,099,336,220		
		医療事業収益	0	6,264,647	6,264,647	0	6,264,647		
		経常経費寄附金収益	669,156	0	669,156	0	669,156		
		その他の収益	0	0	0	0	0		
		サービス活動収益計	799,121,390	307,148,633	1,106,270,023	0	1,106,270,023		
	費用	人件費	568,197,062	241,508,054	809,705,116	0	809,705,116		
		事業費	119,838,823	21,871,653	141,710,476	0	141,710,476		
		事務費	35,280,250	11,890,502	47,170,752	0	47,170,752		
		利用者負担軽減額	66,992	18,684	85,676	0	85,676		
		減価償却費	47,265,356	25,145,794	72,411,150	0	72,411,150		
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 13,141,259	△ 20,536,172	△ 33,677,431	0	△ 33,677,431		
		徴収不能額	0	0	0	0	0		
		徴収不能引当金繰入	300,000	10,000	310,000	0	310,000		
		その他の費用	0	0	0	0	0		
		サービス活動費用計	757,807,224	279,908,515	1,037,715,739	0	1,037,715,739		
		サービス活動増減差額	41,314,166	27,240,118	68,554,284	0	68,554,284		
		サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	1,216,000	0	1,216,000	0	1,216,000
				受取利息配当金収益	218,009	59,582	277,591	0	277,591
有価証券評価益	0			0	0	0	0		
有価証券売却益	0			0	0	0	0		
投資有価証券売却益	0			0	0	0	0		
その他のサービス活動外収益	2,229,161			412,969	2,642,130	0	2,642,130		
サービス活動外収益計	3,663,170			472,551	4,135,721	0	4,135,721		
費用	支払利息		4,052,800	0	4,052,800	0	4,052,800		
	有価証券評価損		0	0	0	0	0		
	投資有価証券評価損		0	0	0	0	0		
	その他サービス活動外費用		0	0	0	0	0		
	サービス活動外費用計		4,052,800	0	4,052,800	0	4,052,800		
サービス活動外増減差額	△ 389,630	472,551	82,921	0	82,921				
経常増減差額		40,924,536	27,712,669	68,637,205	0	68,637,205			
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	0	0	0	0	0		
		施設整備等寄附金収益	0	0	0	0	0		
		固定資産受贈額	0	0	0	0	0		
		固定資産売却益	0	0	0	0	0		
		拠点区分間繰入金収益	12,000,000	0	12,000,000	0	12,000,000		
		拠点区分間固定資産移管収益	0	0	0	0	0		
		その他の特別収益	200,000	60,000	260,000	0	260,000		
	特別収益計	12,200,000	60,000	12,260,000	0	12,260,000			
	費用	基本金組入額	0	0	0	0	0		
		資産評価損	0	0	0	0	0		
		固定資産売却損・処分損	1	0	1	0	1		
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	0	0	0	0		
		災害損失	0	0	0	0	0		
		拠点区分間繰入金費用	8,600,000	15,400,000	24,000,000	0	24,000,000		
		拠点区分間固定資産移管費用	0	0	0	0	0		
		その他特別損失	0	0	0	0	0		
		特別費用計	8,600,001	15,400,000	24,000,001	0	24,000,001		
特別増減差額		3,599,999	△ 15,340,000	△ 11,740,001	0	△ 11,740,001			
当期活動増減差額		44,524,535	12,372,669	56,897,204	0	56,897,204			



**コロナウイルスに負けるな！
つながる力、元気、笑顔を取り戻そう！**

人とつながる、会話をする、笑うことは、何よりも健康維持に必要と言われています。

新型コロナウイルスのせいで、自粛生活を余儀なくされた結果、うつっぽくなってしまった、足腰が弱って転倒してしまった、認知症が進行してしまった等のご相談が残念ながら増えてきています。

地域包括支援センターでは、コロナ禍での介護予防、健康維持を目的に、7月より順次地域での集まりを再開しています。

いずれも厚生労働省、小平市の指示を守り、ばっちりと感じ予防対策を行った上で、時間を短縮して開催をしています。

*** オレンジカフェ…美園地域センターにて毎月第1木曜**
13:30～14:30

ソーシャルディスタンスが保てるよう、地区ごとにお声かけしています。7月は5名で開催しました。

*** 見守りボランティア交流会…美園地域センター奇数月**
第2木曜 13:30～15:00

*** つながろう美園（美園町や大沼町を中心に地域のことを考える会（協議会）のこと）**
イリーゼ小平 毎月第4金曜
14:00～15:00

*** まるっと仲よし隊（仲町を中心に地域のことを考える会（協議会）のこと）**月1回
（不定）オンライン会議
15:30～17:00

*** いきいき体操美園…9月より再開できるよう準備中**
場所は近隣の公園（清風公園など）で検討中。

*** いきいきウォーク美園…9月か10月より再開できるよう準備中。**
感染予防の関係上、ご興味がある方は、まず地域包括支援センターまでご連絡ください♪

いきらく体操はじめてみませんか？

「最近の会話は健康のことばかり」というかたに朗報！小平市では、介護予防リーダーさん達が介護予防の為に作った「小平いきらく体操」と「小平いきらく筋力UP体操」というものがあります。自粛が続き体なまっていますか？

- ①体操できそうな公園や3密が避けられる場所を見つける
 - ②一緒に体操をやる仲間を1人以上みつける
 - ③週1回以上、小平いきらく体操と筋力UP体操をやってみる
- 3つのステップで気軽にはじめられます！3密をさけて

Let's 介護予防!

興味を持った方、体操グループの見学希望の方は、地域包括支援センターまでご連絡ください♪
DVDや解説書などが入ったスターターキット

差し上げます！

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様にご丁寧に御悔やみを申し上げます。多摩済生園・多摩済生ケアセンターでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、ご利用者、ご家族、その他関係者の皆様の安全を守ることを最優先に考え、今後とも対応してまいります。

多摩済生園・多摩済生ケアセンター職員一同

一緒に働きませんか？

特別養護老人ホーム多摩済生園

●介護職員さん大募集

正職員：月額 246,000 円～（各種手当含む） 年収 375 万以上
資格経験：不問 勤務時間：7:00～16:00 10:00～19:00
11:00～20:00 12:00～21:00
17:30～翌 10:00、21:00～翌 7:00

日勤パート：時給 1,160 円（賞与含む）～週 2 日以上から可
日数、時間、曜日は応相談

●用務

パート：時給 1,160 円（賞与含む）～
資格経験不問

勤務時間：7:00～11:00 の間で週 3 回
から可。日数、時間、曜日は応相談

INFORMATION



多摩済生園・多摩済生ケアセンターを広報誌だけでは伝えきれないので、右のQRコードから是非、ホームページもご覧ください。



ご不用のタオルください

ご不用のタオル、フェイスタオル、バスタオルを無償でお譲りください。使用済みで結構です。（特養事務所）



モデル：従来棟3階（左）介護主任 田近和弘さん（右）土屋香織さん